

小児のストーマケアにおける 基本ガイドライン：新生児

このガイドラインは、新生児のストーマケアに従事する看護師やその他の医療従事者向けに、小児のストーマケアに関する基本的情報を提示しています。ここでは、ストーマ周囲のスキンケア、製品の選択、ストーマ装具の装着、退院指導などの内容を取り上げます。基本的に、新生児にも成人のストーマケアの原則が適用されます。ただし、皮膚の特性や体形的特徴については成人とは異なり、特別なケアが必要です。世界小児ストーマ認定看護師諮問会議（Global Paediatric Stoma

Nurses Advisory Board、GPSNAB）は、本書の基本ガイドラインが小児のストーマケアに従事する看護師に役立ててもらえることを願っています。詳しい情報をご希望される場合は、「小児科学におけるストーマケア：新生児、幼児、児童に対する国際的ベストプラクティス（Paediatric stoma care: Global best practice guidelines for neonates, children and teenagers）」¹をご参照ください。

基本的なストーマケア

貼付しているストーマ装具を剥離する

新生児の皮膚はとても脆弱です。ストーマ装具を剥離する場合は細心の注意を払う必要があります。

ガーゼとぬるま湯を使って皮膚保護剤を丁寧に剥離し、脆弱な皮膚を傷つけないよう、慎重に剥がしていきます。

粘着剥離剤には有害物質が含まれている場合があります。選択する際は十分に注意してください。原則として、粘着剥離剤の使用は以下の場合に制限されます。

- 粘着剥離剤を使用しなければ、表皮が損傷してしまうと考えられるとき
- 短期間のうちに装具交換を行うとき

粉状皮膚保護剤を使用する場合は、新生児の顔にかからないよう注意しましょう。吸入すると赤ちゃんの呼吸器系に害を及ぼす危険性があります。

ストーマ装具の交換理由を記録しておきます。

ストーマ周囲の皮膚およびストーマを観察する

とても傷つきやすい新生児の皮膚をケアし、管理するためには、ストーマ周囲の皮膚やストーマをよく観察し、ストーマケア方法を検討することが重要です。以下の観察項目を日頃のケアの手引きとしてご活用ください。

| | | | |
|------|------|----|-------|
| 異常なし | 浸軟あり | 発赤 | びらんあり |
|------|------|----|-------|

ストーマ周囲皮膚障害がある場合は、考えられる原因をアセスメントします。

| | | | | |
|--------------------------------------|---------|------------------------|----------|-----|
| 排泄物の潜り込み-皮膚保護剤の下に排泄物が潜り込み皮膚に付着していないか | アレルギー反応 | 機械的刺激（剥離刺激や圧力が原因となるもの） | 現在の疾患や病態 | 感染症 |
|--------------------------------------|---------|------------------------|----------|-----|

以下の内容について、新生児のストーマを観察し、結果を記録します。

| | | | | | |
|---------|------------------------------|----|----|----|----------------------|
| ストーマサイズ | ストーマの高さ（皮膚よりも上、皮膚と同じ、皮膚よりも下） | 形状 | 色調 | 外観 | ストーマ周囲の膨らみ/傍ストーマヘルニア |
|---------|------------------------------|----|----|----|----------------------|

粘膜皮膚接合部の状態を観察します。

| | |
|------|--------|
| 異常なし | 離開している |
|------|--------|

排泄物の性状や量を観察します。

| | |
|-------------|-------------------|
| 便の場合：硬さ、量、色 | 尿の場合：透明度、粘液の有無、臭い |
|-------------|-------------------|

ストーマ周囲の皮膚をきれいにする

ぬるま湯と柔らかい布で丁寧に洗います。

こすらずに、軽く押さえるようにして優しく水気をとります。

洗剤はできる限り添加物の少ない弱酸性のものを選びください。

適切な製品を選択する

新生児は必ず排出口がある下部開放型ストーマ装具を使用してください。新生児の皮膚は頻回な装具交換に適応できません。頻回に装具交換を行った場合、新生児はストレス反応を示します。

通常、凸面装具は推奨されません。

症例によっては、柔軟性の高い凸面装具が選択できる場合があります。

ストーマ装具を装着する

ストーマ装具の皮膚保護剤を上から掌で温めます。外部の熱源（ドライヤーなど）を使って製品を加熱してはいけません。

ストーマ装具はストーマの周囲に密着させてください。ストーマサイズに合わせて、正しくホールカットを行うことが推奨されます。子どもの成長とともに、ストーマのサイズや形状は変化するため、ホールカットのサイズが合っているかどうか定期的にチェックするとよいでしょう。

適切な密着性が確保できない場合は、用手成形皮膚保護剤や練状皮膚保護剤などのアクセサリーの使用を検討してください。早産児にはアルコール含有のストーマペーストは使用できません。

ストーマ装具の貼付期間

推奨される貼付期間は、早期には12～24時間ですが、時間の経過とともに、2～3日まで延ばせる場合があります。

退院指導

退院前

必ず、以下の内容について必要な情報提供を行います。

| ストーマ装具の交換方法 | ストーマおよびストーマ周囲皮膚障害について | 選択したストーマ装具とアクセサリーの種類 | ストーマ装具の購入方法 |
|---------------|-----------------------|--|---|
| ストーマ装具販売店への連絡 | コスト | ストーマ外来や主治医への連絡の方法とタイミング ※お問い合わせ先についてお知らせします ・ 外来受診日の日時 | 特に以下の内容を親に伝えておくこと ・ ストーマ関連合併症の臨床徴候（例えば、ストーマの脱出やびらんなどのストーマ周囲皮膚障害など） |

退院後

継続的な支援に関する推奨事項

| | | |
|---------------------------|----------------------------------|---|
| 週1回程度、電話連絡などで、親に状況確認を行います | 主治医の受診日にはストーマケアに従事する看護師の同席を推奨します | 家族が遠方に住んでいる場合は、SkypeやFaceTimeなどのオンライン診療を検討します（地域の規制で許可されているかどうかを必ず確認してください） |
|---------------------------|----------------------------------|---|

¹ 出典：「小児科におけるストーマケア：新生児、幼児、児童に対する国際的ベストプラクティス（Pediatric stoma care: Global best practice guidelines for neonates, children and teenagers）」www.ColoplastProfessional.com